

デザイン、コンテンツを一新した 2015年版富山県民手帳で富山の魅力を発信



半世紀以上の歴史を誇る「ひそかなベストセラー」

「県民手帳」とは北海道、東京、神奈川、京都、大阪、兵庫、三重を除く 40 県が監修・発行している手帳。一般的な手帳機能に、その県の概要や県の特徴を示す各種データ、特産品やイベントなどの観光情報を資料として付随させている。県民の暮らしに根付いた情報も多いため、各県でも地元県民を対象として制作・販売されていた。しかし、近年はその「**ご当地性**」に関心が高まり、**購買層は県民以外にも拡充する傾向が強くなりつつある。**

富山県では、「富山県民手帳」を富山県統計協会が発売。その歴史は、確認できる中でもっとも古いものが 1957 年版（56 年発行）であり、以来毎年刊行され続けている。県内だけでなく全国からも注文が寄せられるという、**富山が誇るベストセラーの一つ**だ。サイズは B7 判変型のポケットサイズで、本体の日記編（手帳編）、別冊の資料編と住所録の 3 つの分冊型となっている。ステーションナリーとしての機能性も高く、スリムなフォルムでありながら、富山県の「住みやすさ」がうかがえる各種統計データや年表「富山県の主なできごと」といった資料が豊富に盛り込まれている。郷土を知るデータベースとしての利用価値の高さも、人気のポイントといえそうだ。

2015年版は「選べる表紙とコンテンツのリニューアル」

その富山県民手帳が、2015 年版（14 年 11 月発売）では、デザイン、コンテンツともに大きくリニューアルが図られた。大きなポイントとして挙げられるのが、**選べる表紙カラー**。通常版のブラウンに加え、**限定版のアイボリーが発売**され、前者は日記編の月間予定表が横軸タイプ、後者はカレンダータイプとなっている。アイボリータイプは女性に好評とのこと。表紙デザインのアドバイスを行った県総合デザインセンターの平野主任研究員は「**ブラウンの表紙は、毎年購入する利用者に安心して使っていただくために、あえてデザイン的な変更は加えませんでした。**

アイボリータイプは若者層や女性層を対象に、従来の箔押しを型押しのみに変更することで、色合いと共に、柔らかいイメージを持たせました」と語る。

このほか、新規情報のカラーページとして「環日本海・東アジア諸国図」（通称「逆さ地図」）や「富山湾の鮭 旬のネタ紹介」、県内の鉄軌道マップなどが追加された。巻末には 15 年 3 月 14 日の北陸新幹線開業を見据えてクーポン機能も新たに盛り込まれている。資料編では県内 15 市町村の見どころや特産品、ゆるキャラなども紹介され、**従来以上に富山の魅力を詳細に発信し、「読む楽しさ、知る楽しさ」が感じられる仕上がり**となった。

また、平野主任研究員は富山県民手帳の告知用チラシのキャッチコピーと本体の帯のデザインを手がけたほか、購買層にもっともアピールする店頭 POP も制作。店頭 POP は、書店やコンビニ等レジカウンター横への設置用に制作され、県民手帳が数冊収納できる仕様になっている。「ブランカラーとアイボリーカラーでは月間予定表が異なるため、誤って購入されないよう二つの違いを強調するデザインとしました。店頭 POP は来年以降も使用できるよう、年度やキャッチコピーといった変更の可能性のある情報は省いてあります」**カバーデザインから PR ツールに至るまで、さまざまな細かな工夫や配慮が、購買層へのアピールにつながっている。**

富山県民手帳 2015 年版は 550 円（税込）、昨年 12 月までに 25,000 部を発売、出荷。富山県内の書店、コンビニエンスストア（一部）、県刊行物センター、県外では高島屋日本橋店と大阪店などで取り扱っているほか、富山県統計協会でも取り寄せに対応している。

【お問い合わせ先】

富山県経営管理部統計調査課 TEL076-444-3190
富山県統計協会（申し込み先） TEL076-444-3190
<http://www.cap.or.jp/~toukei/>